昭和44年１月９日第三種郵便物認可

毎月１回　１日発行　第４６４号　**岩　手　の　畜　産**　平成１８年４月１日　(1)

岩手の畜産

題字は増田知事

平成18年４月号

発行所
社団法人　岩手県畜産協会
〒020－0173 滝沢村滝沢字砂込389番7
☎ 019－694－1300(代)
FAX019－694－1305
Internet Address http://iwate.lin.go.jp
E－Mail Address info@iwate.lin.go.jp
（定価110円）会員の購読料は会費に含まれる
印刷 小松総合印刷株式会社

「牛飼いきたみなみ」

奥州市江刺区
黒毛和牛一貫経営　菅　野　恭　子

畜産春秋

私は、昨年５月に沖縄から岩手県江刺市（現奥州市）の黒毛和牛一貫経営の農家に嫁いできました。

沖縄では畜産の農業改良普及員をやっており、平成13年度には、岩手県と沖縄県の人事交流で水沢農業改良普及センターに一年間お世話になりました。水沢普及センター時代でも畜産を担当し、胆江地域を中心に岩手県の畜産について様々なことを学びました。

普及員になってから畜産についての勉強を始めたのですが、すっかり牛の魅力にはまってしまい、「いつかは自分も牛飼いになりたい！」と思っていました。現在はその夢もかない、牛に囲まれ楽しい毎日です。

実際に牛を飼ってみて、同じ牛飼いでも北と南ではやり方や環境が違うと感じることが多々あります。

例えば、畜舎構造について、暑い沖縄では通気性と耐風性を第一に考慮した設計を行います。一昔前までは、台風に耐えるためのコンクリート造りでしたが、通気性が悪いことから現在では壁のない鉄骨畜舎が主流になっています。一見、台風に弱そうな印象ですが、壁がないことにより風が吹き抜けていくため耐風性が高まります。岩手では、基礎のしっかりした柱の太い畜舎をよく見かけます。雪の重みに耐えうる上からの圧力に強い構造となっているのでしょう。取り巻く自然環境によって、畜舎の構造設計も違ってくるのだと感じました。余談ですが、私は岩手に来るまで「ませ木」を今までに見たことがなく、どのように牛を出し入れするのか、最初はかなり悩みました。はずし方を教えてもらったときには、その合理的かつ簡便な方法に大変感動しました。

また、改めて今までの概念を変えなければと感じたのは牧草です。寒地型、暖地型の違いはもとより、牧草の成長速度や単収がまったく違うため、草地管理の方法や給与計算の仕方を考え直す必要がありました。おおよそ３番草までしか採草できないと知ったときには「年３回の回転率で、どうやって補助事業等の費用対効果をだすのかなぁ・・・」といらない心配までしてしまいした。

このように畜産に携わるようになって、沖縄にいたときも岩手に来てからも、日々様々な疑問や発見に出会いますが、周囲に知識と経験が豊富な方々が多く、色々教えていただいています。すべての仕事や経験が勉強になりますが、特に、長年牛飼いをされている方々の牛に対する真摯な姿勢にとても感銘を受けます。沖縄で70代の牛飼いの方が、夏になると毎日牛舎の屋根にのぼり水をかけて防暑対策をされている姿を見てたいへん感動しましたが、岩手でも牛に対して深い愛情をもって接する方々が多く、環境や方法は違っても、牛飼いの基本は同じであると確信しました。

私はまだまだ牛飼い初心者ですが、家族や周囲の皆さんに支えられ、たくさんのことを学びながら、牛１頭１頭と真剣に向き合えるように頑張りたいと思います。牛飼いの諸先輩方、関係機関の皆様、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

もくじ CONTENTS

畜産春秋…… 1
畜産経営改善の指導を強化・平成17年度人工授精師講習会…. 2
家畜繁殖実技講習会・平成16年度農業産出額…… 3
南部かしわ研究会・耕畜連携の推進…… 4
平成17年度岩手県獣医畜産業績発表会…… 5
平成18年度畜産物価格等…… 6
2006LIAJ（家畜改良事業団）酪農講演会…… 6
平成17年度畜産経営者セミナー開催…… 7
街角に馬車・平成17年度畜産大賞受賞祝賀会…… 8
「緑峰和牛」の牛群確立をめざして…… 9
現地情報・家畜の保健衛生……10
平成17年度肉用牛肥育経営安定対策事業推進会議……11
ティータイム……11
畜産の研究・子牛市場及び家畜市場成績……12

畜産経営改善の指導を強化

岩手県畜産経営改善推進協議会（会長：本会山下常務理事、事務局：本会）及び岩手県大家畜経営改善支援協議会（会長、事務局、構成員は前項協議会と同じ）の本年度２回目の監事・指導班員会議が３月２日、滝沢村産業文化センターで開催されました。会議には県畜産課･振興局農林（政）部及び県農協中央界、県信連など農業団体の担当者31名が出席し､17年度の現地調査指導の結果と今後の指導方法を検討しました。

（検討結果の概要）

ア．畜産特別資金借受者の経営及び償還状況は、①酪農100戸のうち52戸が負債額が減少し概ね順調に償還､33戸が負債額が増加し､返済が滞ったり購買未払金が増加②肉用牛56戸のうち24戸が負債額が減少し概ね順調に償還､19戸が負債額が増加し、延滞や購買未払金が発生。

イ．負債増の理由として、堆肥舎建設や農機具導入、家畜導入等の資金借入が多い。なお、大部分が堆肥舎の整備が済んでいる。

ウ．今後の指導方法として①農家所得で家計費や償還利息・元金を賄うことができるのかの４段階の評価ランクに応じてきたきめ細かな指導を展開する②融資機関（農協）はＣ、Ｄランクの農家の見直し計画作成等、債権回収にもっと力を入れる③融資機関及び指導班が連携を密にして所得の確保対策を含め実効のあがる指導を強化する、等を確認した。

エ．大家畜経営改善支援資金借入者の経営及び償還状況は､①酪農３戸のうち負債額減少が１戸、増加が２戸②肉用牛５戸のうち減少が３戸、変わりなし１戸、増加が１戸③Ａランクが４戸、Ｂが１戸、Ｃ（農家所得で家計費は賄えるものの、利息の一部及び償還元金は払えない）が２戸。この２戸はいずれも酪農経営で個体乳量の伸び悩みが原因。

指導方法は前項ウと同じ。

負債の状況と今後の対応を協議

平成17年度人工授精師講習会

県農業共済組合連合会と県家畜人工授精師協会（会長：後藤太一・事務局：本会）共催の標記講習会が２月24日、滝沢村「産業文化センター」で開催されました。

当日は開業人工授精師をはじめＮＯＳＡＩ、農協の協会会員と家畜改良事業団、小岩井農場、県（振興局・家保）の担当者等40名が参加、雄・雌産み分け技術についての講演と生産現場における取り組み事例の発表が行われました。

（講演）

「雄･雌産み分け技術の現況」（岩手大学農学部助教授大澤健司氏）

・胚を性班別して望ましい（農家が望む）性の胚のみを移植したりＸ精子とＹ精子を分離するなど実用化に近づいてきているが、性比に偏りが出るメカニズムは単純ではなく、分かっていないことが多い。

・これまでの実験結果やフィールドでの報告から、いくつかの推論を導くことは可能であり、その１つとしてＡＩのタイミングで性比に偏りがあるようだ。しかし、受胎率が重要であり、性比を過度に気にすることなく基本に忠実に業務を行うべきだ。

（事例発表）

・「牛歩システム導入による繁殖効果」（奥州市鈴木恒雄氏）と「体内・体外胚にみられる性の偏り」（後藤太一氏）の２題でそれぞれ取り組み事例やデータを発表し、牛歩導入後の種付け作業と現時点の評価等について理解を深めた。

ＡＩのタイミングなどを解説する大澤助教授

家畜繁殖実技講習会

県家畜人工授精協会は３月３日、県農研センター畜産研究所（供卵牛舎）で農協の人工授精師等10名を対象に実技講習会を開催しました。

黒毛和種２頭、交雑種（黒毛×乳用種）２頭と超音波診断装置を用いた卵巣検査と子宮検査の実技講習で、「記録と検証が大事」（講師の後藤会長）の長年の体験をもとに触知や記録の方法をマンツーマンで実地指導を行いました。

17年度の同協会の目玉事業である実技講習は受講者から「技術の向上面で大変良かった」と好評でした。

触知や記録の方法を実地指導

平成16年度

農業産出額（岩手県）

東北農政局　盛岡統計・情報センター

表１　平成16年農業産出額（岩手県）

区　　分	産　出　額	対前年増減率	構　成　比
	億円	%	%
農業産出額	**2,619**	**1.2**	**100.0**
耕種計	**1,351**	**5.4**	**51.6**
うち米	735	7.0	28.1
野菜	285	4.0	10.9
果実	134	8.1	5.1
花き	58	△ 6.5	2.2
工芸農作物	91	1.1	3.5
畜産計	**1,268**	**△ 2.8**	**48.4**
うち肉用牛	196	2.1	7.5
乳用牛	243	△ 1.6	9.3
豚	206	3.5	7.9
鶏	615	△ 6.4	23.5

注：農業産出額は、市町村を単位として、農業生産活動による最終生産物の市町村の品目別生産量に、農家庭先販売価格を乗じて求めたものである。

【結果の概要】

１．平成16年の農業産出額（概算）は、2,619億円で前年に比べ1.2%（32億円）の増加。

鶏、乳用牛等の畜産が減少したものの、米、野菜等の耕種が増加したことによる。

２．畜産部門の産出額は、1,268億円（構成比48.4%）で、前年に比べ2.8%の減少。

ア．肉用牛の産出額は輸入量の減少により価格が上昇したことなどで対前年2.1%の増加。

イ．乳用牛は生乳の生産量が減少したことなどで対前年1.6%の減少。

ウ．豚は輸入牛肉の減少による代替需要から価格が上昇したことなどで対前年3.5%の増加。

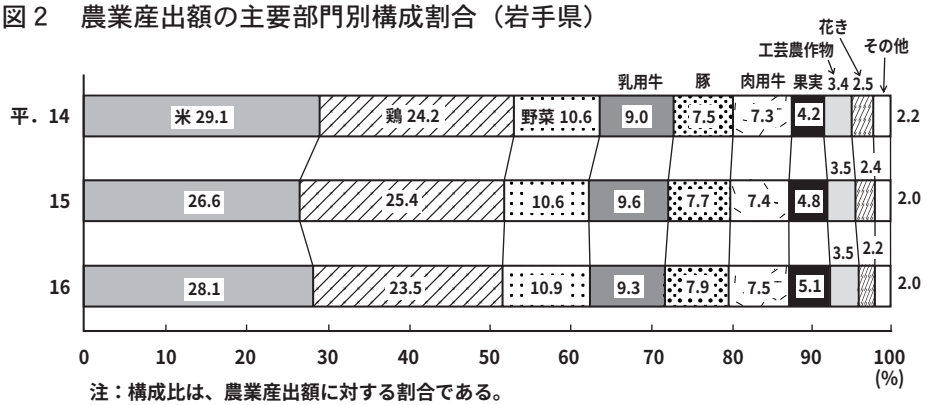
エ．鶏は鶏卵の価格が上昇したものの、ブロイラーの生産量が減少したことで対前年6.4%の減少。

３．過去30年間（昭和55年～平成16年）で最大の農業産出額は昭和60年の3,595億円その時の畜産部門は1,373億円（構成比38.2%）。

また、畜産部門の最大の産出額は平成３年の1,527億円で全体の農業産出額3,348億円の45.6%を占めていた。

※１．対象期間は平成16年１月１日～12月31日までの１年間

図２　農業産出額の主要部門別構成割合（岩手県）



注：構成比は、農業産出額に対する割合である。

オガクズおよび杉皮粉砕

入用の方は、下記あてご連絡をお願いします。
価格、運搬方法についてはご相談に応じます。
なお、杉皮粉砕は格安でお譲りします

気仙郡住田町上有住字山脈地21　（有）菊池製材所　TEL. 0192－48－2528　FAX. 0192－48－3261

南部かしわ研究会

18回目の標記研究会が２月22日、県農研究センター畜産研究所で開催されました。

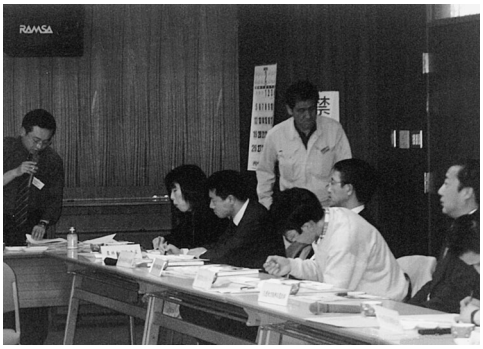
研究会には生産農家をはじめ鶏肉販売会社、料理研究家、試験研究・行政の担当者等42名が参加し、①「南部かしわ」と15年度に作出した新特産肉用鶏（以下「新南部かしわ」と表記）の素雛供給計画検討②食品廃棄物を利用した新南部かしわの飼養方法③ニューカッスル病とワクチン接種の効果④「岩手地鶏」の特徴と種の保存研究、等について検討を行うとともに新南部かしわの試食を行いました。

試食は①配合飼料（100％）②配合飼料（70％）＋パン屑(30％)③配合飼料(70％)＋そば粉(30％)④そば粉、豆腐かす、カキ殻粉砕を交ぜ乳酸発酵させたもの、の飼料で育てた４種類の鶏肉（焼き肉）で行いました。食後のアンケート調査結果ではいずれも旨味があり、歯ごたえも適度でしかも食品リサイクルと飼料費の節減（２割前後）にもなると納得していました。

新南部かしわは「岩手地鶏」の血統が入っていることもあり、発育が良好で“コクがあって最高の味”であることが、今回の試食とこれまでの試験研究のデータで明らかとなりました。また、めぐみフェア（スポレクいわて2005と同時開催）来場者への試食アンケート調査を再確認する恰好となりました。

今後は素雛の供給体制を充実するとともにブランド化の推進に一層務めていくことにしています。

食品廃棄物を利用した新南部かしわの飼養方法を協議



旨みや歯ごたえ等の食味比較試験

耕畜連携の推進

岩手町の農事組合法人「南山形養豚組合」は母豚2,200頭、肉豚出荷40,000頭、堆肥2,000ｔを飼養・生産している大規模養豚団地。

３月２日、八幡平市大更で同組合主催で開催された「有機質堆肥研修会」には岩手町をはじめ盛岡市玉山区の農業者､たい肥処理システム専門家、ＪＡ新岩手農協担当者等30名が出席、土壌微生物を活用した堆肥の特徴と施用の効果を研修するとともに、今後の取り組みを協議しました。

（堆肥の特徴と施用の効果）

・南山形養豚組合は土壌微生物が作用する堆肥発酵剤を飼料に添加するほかふん尿処理時にも使用（平成10年から現在まで）している
　その結果、豚舎やふん尿処理施設及び堆肥の臭気が殆どなくなった。
・これをキャベツ、レタス、ホーレン草等野菜や水稲に化成肥料の代替えとして施用している岩手町ほかの農業者は①慣行栽培と遜色のない作柄②病害虫の発生が少ない③特に水稲は冷害に強い、等の評価が多かった。
・同様の堆肥発酵剤を長いも、にんにく、りんご等、野菜・果樹・水稲、花きに施用している青森県内の農家でも化成肥料主体の慣行栽培と比べて収量･品質とも確実に好成績をあげている。

（今後の取り組み）

・発酵豚ぷん堆肥の施用量を把握している農家のデータを整理・分析し、品目ごとの施用基準を確立する。
・硝酸態窒素の低減を図るため、豚肥と相乗効果の高い資材を用いた実証試験を行う。

「堆肥発酵剤の効果を説明」

平成17年度岩手県獣医畜産業績発表会

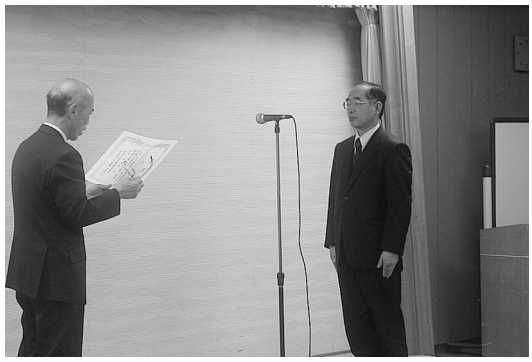
平成17年度の標記発表会が３月10日、岩手県庁12階講堂で開催されました。

この発表会は県内の獣医・畜産関係者が日常の業務に関連した調査指導や診療、試験研究等の業績について発表討議を行うとともに、技術の交換・交流を図ることを目的に県が主催し、県獣医師会・本会・県農業共済組合連合会・県畜産技術連盟が協賛して行われており、今回で36回目（昭和45年から実施）の開催となります。

今年度は獣医部門12題、畜産部門８題のほか、畜産課の鈴木暁之さん（演題「新しい岩手県酪農・肉用牛生産近代化計画について」）と中央家保の熊谷光洋さん（演題「茨城県における高病原性鳥インフルエンザ防疫対策」）の２件の特別発表も行われました。

優秀業績発表者に贈呈

その後、（独）動物衛生研究所七戸研究施設の濱岡隆文施設長ら７名の審査により優れた業績発表として次の６件（名）が表彰されました。



本会会長賞を受賞した及川博正さん

講評は「畜産の直近の課題が出ており、８題の発表は素晴らしい」「現在、家保やＮＯＳＡＩに求められているもの伝わってきており、４年以上の年月をかけてきた成果が多く出されている」といずれも高い評価を受けました。さらに、閉会の挨拶で畜産課樋澤総括課長は「生産現場での課題を取り上げ、その解決に向けた取り組みをしていることに敬意を表する。今後ともそれぞれの地域、関係機関・団体においてはそうした姿勢で積極的に取り組まれるようお願いしたい」と総評を行いました。

受賞者及び演題名

表彰名	部門	所属	氏名	演題
岩手県知事賞	獣医	県北家保	方波見将人	岩手県北地域でまん延した牛カンピロバクター症の清浄化達成（７年間）の取り組みについて
〃	畜産	盛岡普及岩手地域	畠山耕一	耕畜連携による地域循環型農業の確立
岩手県獣医師会長賞	獣医	ＮＯＳＡＩ盛岡	高島恵輔	内水頭症を伴った小脳形成不全を呈した黒毛和種子牛の２症例
岩手県畜産協会長賞	畜産	一関市役所千厩支所	及川博正	異業種間連携による畜産活性化への取り組み
岩手県畜産技術連盟賞	畜産	久慈振興局	小林礼佳	短角牛肥育農家による繁殖センターの取り組み
岩手県農業共済組合連合会長賞	獣医	ＮＯＳＡＩ岩手	鈴木一教	ＮＯＳＡＩ岩手肥育検診の効果と今後の取り組みについて

― 地球が喜ぶものを作ったら　新しい結果が生まれた ―
― 鶏／豚／牛／馬／魚／野菜／花／木／自然　etc. ―
全ては命あるもの ―
― 水を必要とする全ての命へ生命エネルギーを注ぎ込む ―
― 結果を求める者だけが必要とするセラミックボール ―
【白癒水瓶】～びゃくえすいびょう～

問い合わせ先
(有)notice（のうていす）～気づき～
代表取締役　高橋克磨
八幡平市大更18-141-16
℡電話:050-5507-0674　FAX:0195-75-2044
URL:http://www.takanou.com/notice/
E-mail:notice_k@takanou.com

平成18年度畜産物価格等

農水省は３月９日､18年度畜産物価格等を下表のとおり決定した。

１．加工原料乳生産者補給金単価及び限度数量

（単位：円／kg）

	17年度	18年度
補給金単価	10.40	10.40
限度数量	205万トン	203万トン

２．指定食肉の安定価格

（単位：円／kg）

		17年度	18年度
牛肉	安定上位価格	1,010	同左
	安定基準価格	780	〃
豚肉	安定上位価格	480	〃
	安定基準価格	365	〃

３．指定肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格

（単位：円／kg）

		17年度	18年度
保証基準価格	黒毛和種	304,000	同左
	褐毛和種	280,000	〃
	その他の肉専用種	200,000	〃
	乳用種	110,000	〃
	交雑種	175,000	〃
合理化目標価格	黒毛和種	267,000	〃
	褐毛和種	246,000	〃
	その他の肉専用種	141,000	〃
	乳用種	80,000	〃
	交雑種	135,000	〃

・加工原料乳の限度数量は、脱脂粉乳とバターの過剰在庫の解消のため現行より２万トン減の203万トン、補給金単価は据え置いた。
・指定食肉の安定価格、肉用子牛の保証基準価格など一連の畜産物価格はすべて据え置いた。

2006LIAJ（家畜改良事業団）酪農講演会

今回で11回目の家畜改良事業団盛岡種雄牛センター主催の標記講習会が２月28日、盛岡市繋のホテルで開催されました。

講習会には本県のほか東北各県のホルスタインクラブ会員の酪農家をはじめＪＡ、畜産試験場の担当者等120名が参加し､乳用牛の育種改良と種雄牛評価を内容とした｢改良と改善で楽しい酪農を｣と「輸入精液、共進会の現状」について受講しました。

（情報提供）

盛岡種雄牛センターから「乳用種雄牛評価値（2006－02月）」トップ40と特に推奨する種雄牛の能力、特徴を解説。

（講演）

〔北海道上川郡清水町セジスビューティ牧場　高橋徳男さん〕

・帯広市から西へ約30㎞の平場地帯で本人夫婦と息子夫婦の４人で経産牛65頭･育成牛70頭計135頭を飼養。
・昭和61年以降現在まで連続20年、個体乳量１万kg以上（うち８頭が２万kg～２万２千kg）の実績をあげている。平均産次は３産。
・酪農経営で留意している点は①種雄牛（精液）の選定②生産技術の改善、特に乳房炎・繁殖障害の予防と良質粗飼料の安定確保・供給③仲間との交流を大切にし技術改善・労力面の協力・共進会対応等を組織的に実施。
・とちぎファームフェスタ2005（17年11月開催）で未経産の部でグランドチャンピオンを受賞した。牛群改良は、大型化と乳房・乳頭・足などの体型に重点を置き、輸入精液にこだわらず国産種雄牛も利用している。

〔北海道帯広市　十勝家畜人工授精所代表　吉川広司さん〕

・酪農家で家畜人工授精事業体協議会の代表を務める吉川さんは、共進会向けの「大きく、力強く、バランスの良い」乳牛と長命性や連産性、泌乳性等を重視する「経済性に富む」牛づくりとの間に大きな違い（２つの基準）が出てきた。今後は経済性や長命性に秀でた牛はどのような形質を持つのか、検証していく必要があろう。
　なお、共進会は牛舎で働く原動力となるもので、その意義は大きい。
・乳価がかなり下がっても経営が続けられるよう、低コスト生産に直結するような牛群改良を進めていくことが重要。

多様化する業界ニーズに応えトータルな畜産の未来を提案し続けます。
丸善薬品株式会社
本社　〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13
TEL 011(376)3860　FAX 011(376)2600
【支店・営業所】［北海道］札幌・旭川・北見・帯広・釧路・函館　［東北］青森・八戸・大館・横手・盛岡・一関・古川・山形・鶴岡・仙台

このため、酪農家及びＡＩ関係者等は国内検定済み種雄牛や輸入精液の情報を十分把握のうえ、しっかりした考え方をもって適正な交配を進めていくことが大事だ。

なお、本当に純国産の種雄牛をつくるのであれば、人工授精事業体はその産子の成績を検証し種雄牛づくりに取り組む必要がある。

・国内種雄牛輸入精液の能力の表示は、生産者の立場に立ってコスト引き下げの効果が分かるように配慮すべきだ。

国産種雄牛（精液）も利用しながら生産技術の改善に努力

平成17年度畜産経営者セミナー開催

畜産経営者等を対象に経営技術の向上を図ることを目的とした平成17年度の「畜産経営者セミナー」が３月16日、滝沢村産業文化センターを会場に本会主催で開催されました。

同セミナーには、県内各地の畜産農家をはじめ県（振興局ほか）や非常勤コンサルタント及び窓口相談員等50名が参加、熱心に聴講しました。

今回のテーマは酪肉近代化基本方針に基づく食料自給率の向上という視点で「地域**食品製造副産物等の飼料化・利用**について」、講師は（独）東北農業研究センター総合研究部の総合研究第２チーム長　近藤恒夫さんで、食品製造副産物利用の意義と先導的な取り組み事例について講演と質疑応答が行われました。

○講演要旨

・食料・食品の生産もしくは製造過程で排出される副産物は、全国的にみても**飼料資源**として利用できるもので、その賦存量は大きく、配合飼料の輸入による**二酸化炭素軽減の効果**が期待できる。**副産物を含む国産飼料利用は地球温暖化の負荷を低減**させる。しかし、①高水分のものが多く、粕類は70％～80％。保存性が悪く、運搬や給与面で難がある。②ＴＤＮやＤＣＰで栄養価の幅がある、等解決すべき課題もある。

・廃棄処分に困っていた地ビール粕の飼料利用技術もほぼ確立された。また、牧草やトウモロコシサイレージと南部小麦フスマ、リンゴジュース粕の給与で肥育牛や肥育豚の肥育成績が良かった。他県でもＴＭＲ飼料にビール粕、豆腐粕、りんごジュース粕等を使って高い泌乳成績を挙げている事例もある。さらに、**副産物を利用**した「ウメビーフ」「ビール牛」等の名称で増体や脂肪交雑等の肉質向上に効果がある銘柄牛として販売している事例もある。

・地域の副産物の飼料利用を増進するためには、①どこで、どのような副産物が製造されているか等、**食品製造業者の生産内容を畜産農家が分かっている**こと②畜産農家の**経営内容に対応したきめ細かな利用技術の普及推進**、が重要である。

特に、小規模プラント（企業・組合等）と地域畜産農家グループとの連絡・強調体制の確立が喫緊の課題であり、これを基盤に**技術・物流・情報のシステム化**に結びつけていく必要がある。

○主な質疑等

「副産物利用量の限度（家畜への生理的影響）」「副産物製造事業所の情報提供の重要性」「利活用の推進体制整備」等の質問があった。なお、今回のセミナーは副産物利用の意義と他道県の取り組み、利活用の方法が体系的によく分かりとても有意義であった、との声が多かった。

開会あいさつ（本会山下常務）

岩手の大地とともに40年
土壌に合わせて造るBB草地肥料
○海藻粉末の配合で草質と収量の向上に
乳質向上草地肥料　チッソ リンサン カリ クド 20－10－10－3
○苦土、石灰の補給に
草地211号　チッソ リンサン カリ クド 20－10－10－5
草地40号　14－21－5－5
草地ＮＰ420号　24－12－0－6
草地ＮＰ260号　12－6－0－5.5
豊かな大地を育むＢＢ肥料
くみあい肥料株式会社
〒025-0312 花巻市二枚橋第5地割146番地　TEL 0198-26-3313　FAX 0198-26-3316

街角に馬車

昨年11月のお目見え以来２回目となる馬車の運行が３月12日、盛岡市中心部で行われました。時折ちらつく小雪の中、県公会堂を一周（約500メートル）するコースを盛岡市玉山区の八丸牧場の馬車専用馬「ダイちゃん」が馬車を引きました。この日は14回の運行で約70人が乗車、子供達は「初めて乗ったが気持ちがいい」「とても楽しかった」と喜んでいました。

この運行は、市の中心部を流れる中津川の自然や周辺の各所、旧跡を楽しみ川のめぐみに感謝しようと11､12日の２日間､県公会堂と中津川周辺で開催されたイベントの目玉で、市民主体の祭りを盛り上げました。

感謝祭を盛り上げる

早春の中心街をのんびり

平成17年度畜産大賞受賞祝賀会

「(社)葛巻町畜産開発公社(中村哲雄理事長)」は３月13日、同公社の体験･交流施設「もく･木ドーム」で畜産大賞受賞祝賀会を開催しました。

祝賀会には、農水省生産局姫田畜産振興課長や増田県知事夫人の満喜さんをはじめ県内外の行政、畜産関係機関・団体、地元葛巻町の酪農家及び関係機関・団体等約400名が集まり、「**東北・北海道で初の栄冠**」を祝い合いました。

中村理事長は「多くの関係者の指導と協力で牧場運営をはじめ牛乳・乳製品の加工・販売などさまざまな事業に取り組み、雇用を増やし地域活性化に取り組んできた。受賞を契機に畜産振興、地域活性化に一層邁進したい」と挨拶しました。

挨拶する中村理事長

祝賀一色

農水省姫田課長、満喜夫人、中崎町議会議長は「公社の活動はわが国の畜産の模範である。東北、日本の畜産の牽引役としてさらに発展されるよう期待したい」と祝辞を述べました。

祝賀会に先立ち、一人で10種類の楽器を操る大道芸人野尻博さんが、国内はもとよりアメリカ、ヨーロッパ等世界で活躍している多くの体験をもとに「元気なまちづくり十カ条」と題して記念講演を行いました。元気・思いやり・協同の心・やる気・アイディア・独自性・情報発信・成果を得ることとその評価・確認、が大事だとユーモアを交えて熱く訴えました。

同畜産開発公社は1976（昭和51）年に酪農の機能分担と地域酪農経営の支援や振興の拠点の役割

ご宿泊 ・ご宴会にご利用下さい。
くずまき交流館プラトー
TEL. 0195-66-0555　FAX. 0195-66-0511

乳製品の自宅宅配承っております。
ミルクハウスくずまき
TEL. 0195-66-0030　FAX. 0195-66-0031

風車が回る高原の焼肉レストラン
レストハウス袖山高原
TEL/FAX. 0195-68-2010

くずまき高原牧場

社団法人 葛巻町畜産開発公社
http://www.kuzumaki.jp
〒028-5402　岩手県岩手郡葛巻町葛巻40-57-125
TEL. 0195－66－0211　FAX. 0195－66－0755

を担うことを目的に設立。先進技術や乳製品加工のモデル施設導入に取り組み、その成果を町内酪農家に普及させ、東北一の酪農の町にした。さらに、多角的な事業展開や体験学習受け入れ、ふれあい交流等で雇用の確保と町の活性化に貢献したことが評価され、中央畜産会の05（平成17）年度畜産大賞に選ばれたものです。

セレモニーの後は野尻さんの語りとユニークな演奏で場内は爆笑の渦に包まれ、そのパフォーマンスで元気をもらいながら受賞を祝い合いました。

野尻さんの熱演

「緑峰和牛」の牛群確立をめざして

―高校生がプロジェクト学習―

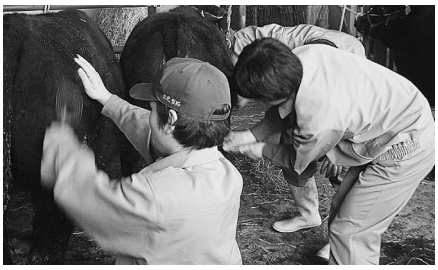
遠野緑峰高校では、生産技術科畜産専攻班の生徒達が繁殖牛の評価方法や子牛の販売成績を調べて良い牛をそろえ、緑峰和牛の系統確立につなげていくためのプロジェクト学習に取り組んでいます。

〈テーマ選定の理由〉

牛糞処理の問題とカリキュラムの変更で16年４月搾乳牛を売却、酪農部門を廃止した。農場としてこれまでの乳肉複合経営から肉用牛専業経営に変わることによって収入減が見込まれるので、良い牛をそろえ“**緑峰和牛**”の評価向上と収入確保を図る。

〈プロジェクト学習の概要〉

ア.2年生と３年生が中心となって、農場で飼育している「正福号」の系統７頭及び市場から購入（16年）した６頭、計13頭を対象に次の事項を調査した。①16年後期から17年にかけて販売された子牛の価格と繁殖成績を比較した　②登録審査の方法を学習するとともに得点と牛の部位の測定結果を確認した　③繁殖成績をもとに高等登録が期待できる牛を推定した。



子牛の飼養管理

イ.18年２月に肥育牛１頭を出荷した。今後、年に１頭肥育牛を出荷する計画となっているので、それに基づいて計画的に素牛の選定と肥育を行っている。

〈学習の成果〉

ア.2年間のプロジェクト学習を振り返って見ると、調査や学ばなければならない事柄の多さに驚いた。

イ．子牛の販売価格など和牛の評価に血統が大きく影響することが分かった。

遠野地方畜産共進会にも出場

ウ．牛舎で世話（この３月卒業した４名・４月から３年生４名、計８名）をした子牛が出荷されていく時は寂しい思いもしたが、高値で売れた時はとてもうれしかった。

エ.18年度以降のテーマは①肥育牛の肉質等級などのデータ収集と分析　②どんな種雄牛を交配させればよいか　③繁殖牛がなぜ高い評価が得られたか　④③を生かすための飼養方法、等であり３年生（４名）と２年生（６名）がこれらに取り組む予定となっている。

南山形養豚組合（岩手町）
いわて厳選 やまと豚
岩手畜流会
母豚２，０００頭の一貫経営
・良質豚ぶん堆肥の供給
・徹底した衛生管理と優良系統豚による斉一性の高い高品質豚肉の生産・供給
「南山形養豚組合」
岩手町大字川口36-242-3
TEL. 0195-62-9087　FAX. 0195-62-9373
※精肉のご用命は岩手畜流会（食肉専門店）へ

地域の話題をお届けします

現　地　情　報

久慈地方　「おおのミルク村」の「ゆめ牛乳」を是非一度ご賞味ください

久慈地域の酪農家が中心となって設立した（有）おおのミルク工房が、昨年５月に「ゆめ牛乳」、「ゆめヨーグルト」の製造・販売を開始して以来、地元を中心として着実にその販売量を増やしています。

牛乳は、地域の観光拠点である洋野町大野の広大な牧草地に囲まれた「おおのキャンパス」内にある乳製品加工施設において、５名の従業員の方々が製造に携わっており、久慈管内でも特に乳質の良い４戸の酪農家の生乳を使用して、酪農家が自宅で飲むのと同じ味を目指し、「85℃ 20分間殺菌」で時間をかけた、甘味やコクのある牛乳を製造しています。

販売先は、久慈管内での宅配を中心として、地元のスーパー、産直施設、宿泊施設、病院、保育園、官公署のほか、隣接する八戸市のスーパーとも取り引きできるようになりました。

また、学校給食では、旧大野村の小中学校へ「ゆめ牛乳」を提供しており、今後は管内全域まで広げ、地元の子供たちに末永く愛される牛乳を目指しています。

現在は、久慈地域や県内の各種イベントに積極的に参加して、ゆめ牛乳のＰＲ活動を行っているほか、商談会にも積極的に参画して販路拡大を進めています。

久慈地域では初めての生産者の顔が見える「ゆめ牛乳」を地域のブランド商品に位置付け、地産地消をより一層推進するため、振興局としても様々な機会を捉えてＰＲしていくこととしており、合同庁舎内でも職員が毎朝飲んで、元気に仕事に励んでいます。皆様も久慈地域へお越しの際は、是非一度『おおのミルク村ゆめ牛乳』をご賞味ください。

（久慈地方振興局　及川浩一）

家畜の保健衛生　(33)

放牧予定牛について

５月になると各地の牧場で放牧がはじまります。放牧中の病気や事故を防ぐために下記の事柄を必ず実施しましょう。

○放牧馴致
- 餌の馴致：濃厚飼料を徐々に減らして、生草だけにしてお腹（第１胃）を馴らしましょう。
- 気象の馴致：日中数時間、舎外に出すことから始めて、外の空気に慣らしましょう。

○ワクチン接種：牧場には様々な農場から牛が集まります。牛を病気から守るために放牧１ヶ月くらいにワクチンを接種しましょう。

○削蹄：入牧後の蹄病、滑走等の事故を防ぐために削蹄を済ませましょう。

○内部寄生虫の駆除、皮膚病の治療：病気を牧場に持ち込まないように、寄生虫の駆除、皮膚病の治療を行い、治療中の牛は完治してから入牧させましょう。

昨年、親子放牧の子牛２頭（約２ヶ月齢）が死亡する事例がありました。解剖の結果、第４胃潰瘍による死亡と診断され、原因は馴致不足によるストレスと考えられます。放牧馴致は有益な放牧にするための重要な事柄です。必ず実施しましょう。

（岩手県中央家畜保健衛生所　衛生課）
TEL 019(688)4111

お届けします！　一歩すすんだ安全・安心
北日本くみあい飼料(株) 岩手営業所　〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋５地割165番地 TEL 0198-26-1215 FAX0198-26-1211
《牛の飼料は、すべて専用工場・専用工程で製造し、専用車で生産者の皆様にお届けいたします。》

平成17年度肉用牛肥育経営安定対策事業推進会議

平成17年度の標記事業（事業実施主体：本会）の推進会議が３月10日、滝沢村「産業文化センター」で開催されました。

本事業は、肉用牛肥育経営の安定を図るため、生産者の拠出と国の補助で基金を造成し収益性が悪化したときに家族労働費を補てんするもので、会議には個体登録や販売申出、現地確認調査等の事務を委託している農協のほか地方振興局及び関係町村の担当者等48名が出席、事業内容と事務処理について説明・協議が行われました。

（主な説明・協議事項）

ア　18年４月１日以降の個体登録申込みから肥育牛の個体識別番号、生年月日、性別、品種等の確認は「牛トレサ法」の牛個体識別情報によること。

イ　しかし、アの牛個体識別情報の管理者は、必ずしも当該肥育牛の所有者とは限らないので、従来どおり家畜共済引受台帳、子牛登記書等によって所有権を確認（関係書類の添付が必要）すること。

ウ　牛トレサ法に違反した場合等には、契約の解除や交付した補てん金の返還を求めてることがあること。

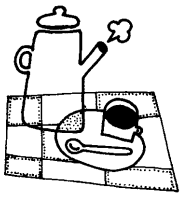
エ　登録申込み等の事務の効率化を図るための「事務委託システム」及び「アドインシステム」の利用促進を引き続き図っていくこと。

オ　平成17年度の生産者手数料の収支実績（一部見込み額も含む）を報告したこと。

改正点を中心に説明

羊頭狗肉（ようとうくにく）

（『恒言録』中国の書より）



ティータイム

羊の頭を懸（かか）げて狗肉を売る。羊の頭を看板に描いて、実際は狗肉（山犬）の肉を売っているというものだ。山犬といえば現在も東南アジアの市場では売られている。みかけは美味なる羊であるが、中味は劣る山犬の肉であるという。立派そうに見せかけて卑劣なことをするという意味にも使われる。日本では『看板に偽りあり』ということわざがあり、「表示を偽って売っている」ということだ。数年前には、輸入牛肉の上に国産の牛肉をかぶせて店頭に出されているものが摘発された。最近は、偽ブランド製品の横行、耐震構造ならぬ偽強度マンションの販売、自社が儲かっているかのような粉飾決算等々、なんと羊頭狗肉の多いことか。

中国の春秋時代（紀元前）の大泥棒盗跖（とうせき）は、盗みに入った家で、先に押し入ったのは「勇」、最後に出るのは「義」などと言って義賊を気どっていた。そのことを後漢の光武帝は詔書の中で、「羊の頭を懸げて馬膊（ばはく）（馬の乾肉）を売る」と評している。

中国では昔から、羊は六畜（馬・牛・羊・豚・犬・鶏）のうち主に料理として供されていた。ちなみに「羊羹（ようかん）」とは羊のにこごり料理だったが、日本には羊はいなかったので、小豆と砂糖、くずで作る菓子となったが字を見ると一目瞭然である。

羊は「美」「善」「義」「洋」「祥」「翔」「群」「着」「羨」「養」等、よきもの、よろこばしいもの、うつくしいもの、大切なもの、広々と向上するという意味合いが多く、人間に良いものをもたらし、運気を高めるという意味が込められている。「羯（かつ）」とは去勢された雄羊ということで、羊の文化の深さが分かる。

もちろん羊は肉だけでなく、毛や皮も用いられ今の我々は「緬羊（めんよう）」というものの恩恵も忘れてはいけない。

初めに言葉あり

昭和44年１月９日第三種郵便物認可

畜産の研究　(33)

「放牧地における牧草の季節生産性を標準化する施肥次期の検討」

牧草は季節生産性が一定でないため、放牧地において春季の余剰草や夏季以降の生産性低下が生じます。そこで、季節生産性を平準化する施肥時期の検討を行いました。

春施肥では、草地化成（化成区、Ｎ６kg／10ａ、８／８同量追肥）と緩効性肥料（ＬＰ区、Ｎ12kg／10ａ、年１回施肥）をそれぞれ４月下旬（早春）、５月下旬（春）、７月上旬（初夏）に施し比較しました。化成区では初夏施肥が、ＬＰ区では春と初夏施肥において春季の余剰草を抑えることができました（図１）。資材コストを考えると化成区が有利でした。

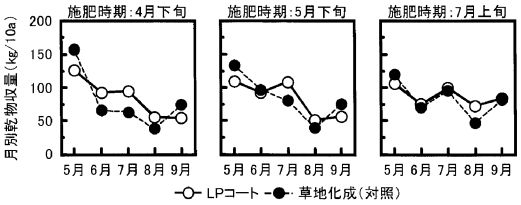


図１　春肥料の施用時期による月別収量の比較

次に化成区の初夏施肥に組み合わせる追肥時期を検討するため、８月上旬追肥と８月下旬追肥を比較しました。８～９月の乾物収量割合が８月上旬区で多くなり、夏季以降の生産性低下防止に効果がありました（図２）。

以上のことから、化成を初夏施用し同量を８月上旬に追肥することで、放牧地の春季余剰草を抑制し、牧草の季節生産性を平準化することが可能となりました。

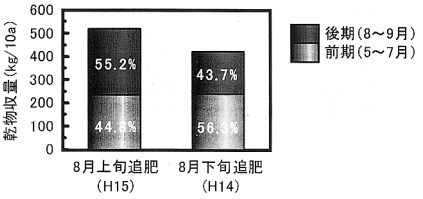


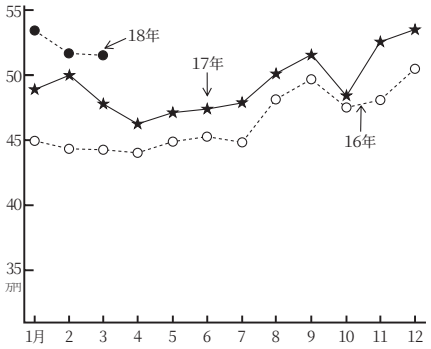
図２　追肥の施用時期による収量の比較

（外山畜産研究室　千葉恒樹）

平成18年３月和牛子牛市場成績〈税込〉

（全農岩手県本部）

市場(月日)	上場地域	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重	kg当単価
県南3／8(水)	胆江気仙	♀	212	893,550	177,450	471,292	269	1,751
		♂	272	708,750	278,250	553,578	300	1,845
		計	484	893,550	177,450	517,535	287	1,806
県南3／9(木)	磐井	♀	188	804,300	200,550	477,532	267	1,788
		♂	2	493,500	280,350	386,925	300	1,292
		♂	208	788,550	289,800	557,636	300	1,860
		計	398	804,300	200,550	518,940	284	1,825
中央3／15(水)	盛岡紫波宮古花巻北上	♀	171	728,700	275,100	438,618	265	1,653
		♂	216	716,100	316,050	561,235	300	1,869
		計	387	728,700	275,100	507,055	285	1,780
中央3／16(木)	新岩手	♀	187	682,500	254,100	462,309	268	1,728
		♂	1	270,900	270,900	270,900	319	849
		♂	300	716,100	157,500	559,717	292	1,916
		計	488	716,100	157,500	521,798	283	1,845
中央3／17(金)	遠野一戸二戸久慈	♀	217	694,050	105,000	456,155	266	1,717
		♂	1	372,750	372,750	372,750	316	1,180
		♂	317	705,600	226,800	547,474	300	1,824
		計	535	705,600	105,000	510,108	286	1,783
合計		♀	975	893,550	105,000	461,673	267	1,729
		♂	4	493,500	270,900	354,375	309	1,148
		♂	1,313	789,550	157,500	555,409	298	1,862
		計	2,292	893,550	105,000	515,184	285	1,808



平成18年２月岩手県内指定家畜市場取引成績

㈳岩手県農畜産物価格安定基金協会

区分	指定肉用子牛		
	頭数	金額	平均価格
黒毛和種	頭 1,551	円 783,437,550	円 505,118
ホルスタイン種（雌を除く）	1	96,600	96,600
交雑種・乳	24	5,411,700	225,488

（注）：金額、価格は消費税込み

図書のご案内

新しいタイプの畜産を目指して

『資源循環型畜産の展開条件』　**農林統計協会発行　Ａ５判　234頁　税込価格　2,940円（送料350円）**

「集約加工型」といわれる日本畜産が形成された背景と要因を解明し、問題の所在を明らかにしたうえで今後あるべき姿である資源循環型畜産の概念、課題や展望などを検討し実践例も紹介。

企画編集した畜産経営経済研究会は、幅広い分野から会員を募り、畜産に関する経営経済的な研究を行うオープンな研究会。同書は元会長　島津正氏（日本大学名誉教授）によって設けられた基金援助を得て刊行された。